

公益社団法人

# 福岡県作業療法協会会報

第118号 平成27年1月15日発行

(事務局)

〒802-0816 北九州市小倉南区若園2丁目6-21 ルミエール若宮101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 菅沼 一平

ホームページアドレス : <http://www.fuku-OT.org/>



特集：遊びを通じた関係発達への援助 ～作業療法の観点から～前編



巻頭言： 「“今を大切に”」 公益社団法人 福岡県作業療法協会 事務局長 中川昇	・・・1
会長行動	・・・1
特集： 遊びを通じた関係発達への援助 ～作業療法の観点から～前編	・・・2
理事会議事録	・・・5
各部・委員会からのお知らせ	・・・15
Occupation： 町立芦屋中央病院 本村 智子	・・・17
リレーエッセイ： 株式会社シダー 佐藤 稔	・・・18
風の家（介護老人福祉施設） 山下 和徳	
会員動向調査	・・・20

## 巻頭言 「“今を大切に”」

社団法人 福岡県作業療法協会 事務局長 中川昇

『あけましておめでとうございます』

昨年は、ソチオリンピックでの羽生選手の金メダル、テニスでは全米オープンで錦織選手の準優勝など明るいニュースが流れ、大きな感動を受けました。一方、消費税は8%になり生活に影響が出ています。また、異常気象（豪雨）による広島市北部の土砂災害、御嶽山の噴火により多くの方が亡くなりました。御嶽山に関しては、噴火した時間がちょうど昼時で人によっては食事をしていましたと聞きました。その日は天気も良くまさかそんなことが起こるとはだれも予測できなかったのではないのでしょうか。

最近、自然災害などにより一瞬にして人生が変わってしまうことが多く見られます。だからこそ、今を一生懸命に生きることが大切のように感じます。皆さんはどうですか？ 普段の生活の中で、中々そのようなことを考えることはないかもしれません。けれども時には自分の生き方について振り返って考えることが必要かもしれません。毎日が忙しく自分の時間が取れない方も一度立ち止まって、自分のことを真剣に考えてみるのもいいのではないのでしょうか。ひょっとしたら新しい自分に気付くかもしれません。日常生活にゆとりができるといいですね…？ 新年の巻頭言から独り言を言ってすみません。

話は変わりますが、公益社団法人福岡県作業療法協会（以下県協会）については、県民の方に公益性を持った活動を積極的に行い、これまで以上に作業療法を知っていただきたいと思います。そのためには、広報および啓発活動の推進、作業療法の知識・技術の提供等をしっかり行っていきたいと思います。

また、県協会の運営に関しては、会員の会費等における金銭管理を行い、予算に基づいた事業計画を実施します。

最後に、公益性を持った県協会の運営に関しては、会員の方の協力が必要です。県協会の事業に関して、一人でも多く会員の方の参加をお願いしたいと思います。

追伸・・・昨年、事務所を移転し新しくなりました機会がありましたら、立ち寄ってください。

## 会長行動（平成25年10月～11月）

11. 7 第16回西日本国際福祉機器展 開会式 出席  
場所：西日本総合展示場 新館
11. 8 現職者共通研修 講師  
場所：小倉リハビリテーション学院
11. 14 北九州市すこやか住宅設立20周年記念講演会 出席  
場所：北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」
11. 21 九州OT支部会、九州PT・OT合同士会長会議 出席  
場所：佐賀県立男女共同参画センター・生涯学習センター
11. 22 九州PT・OT合同学会 参加  
場所：佐賀市文化会館
11. 30 全国ふうせんバレーボール大会 開会式 出席  
場所：北九州総合体育館
12. 1 平成26年度第6回福岡県作業療法協会 理事会 出席  
場所：らそうむスポーツガーデン
12. 7 特別支援教育に携わるOT研修会 講師  
場所：麻生リハビリテーション大学校
12. 21 学会運営委員会 出席  
場所：日本作業療法士協会事務所
1. 16 福岡県PT・OT・S T合同役員会 出席  
場所：麻生リハビリテーション大学校
1. 17 保健委員会研修会「介護報酬からみる作業療法士に期待されること」 参加  
場所：小倉リハビリテーション学院

# 遊びを通した関係発達への援助 ～作業療法の観点から～ 前編

大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科作業療法学専攻

原義晴 北山淳 福本倫之 南征吾

## §1. はじめに

今回のテーマは、「遊びを通した関係発達への援助」です。関係発達の理論から、心身に障害がある子どもとの遊びをどう応援していったらいいのか、遊ぶことが子どもたちの将来のどのような点に影響していくのかということ、そして、一つ一つの遊びがそれぞれどのように関連しているのかという内容についてお話ししたいと思います。

まず、遊びの定義について、続いて遊びの発達過程と学習過程、遊びと脳つまり心の関係についての順に話を進め、最後にその遊びがうまく成功するための姿勢や運動および日常生活の援助について述べます。

## §2. 遊びとは

「遊び」の定義については統一されたものがなく、内容も専門分野ごとに違いがあります。広辞苑には、「仕事をしないこと」または「ゆとり」と載っています。私は、この「ゆとり」という語に心が惹かれました。我々人類は、生後すぐには立ったり歩いたりできない生理的早産の状態で生まれてきます。それは、人類の親は経験してきたことや価値観などたくさん子どもに伝えないといけないことがあるからです。キリンやウマのように生まれて直ぐに歩いてどこかに行ってしまうたら、親が伝えようと思っても、伝えられません。鯨岡先生の著書にある「育てるものから育てられる者へ」という概念でも、系統発達の観点から考えても、そこに時間的ゆとりがあるからこそ十分に子どもを育てていくことができると思います。この時間的ゆとりの中で親は子どもにいろいろな価値観を伝えていきます。「万引きはダメ」とか「人のものを盗るな」とか、「戦争をしてはいけない」とか。このように人の子育てと子どもの成長には、時間的ゆとりが与えられています。

子どもは、親から価値観や体験を受け継いでいきますが、これらを受け継ぐ過程は、遊ぶ経験が重要な役割をもっています。子供時代はとにかく、遊ぶということを通していろいろな学習するということが大事です。遊びということはactive learning processといわれる学習過程です。それは自発的に探索していく過程です。幼少期はいろいろなことを受け継いでいく大事な過程で、人と人の関係とか、ファンタジーとか、情動とか、スキルの発達とか、友情が芽生えるとか、道具の使用を学ぶとかいろいろなことを学んでいます。遊びは、我々が受け継いだ文化をまた子供に受け継いでいってもらおう一つの過程と捉えています。

まず大人と子供と一緒に遊ぶということが大事です。麻生先生(1998)は、遊びについて「遊びだから本気になれる、遊びだから本気でない、この相反する二つの側面があるから遊びは楽しい」と述べています。つまり、遊びは意識の問題で、遊んでいると思えば遊びで、遊びじゃないと思えば遊びじゃないということにもなります。例えば、積木を積んで「どこまで積めたかな」と親が一生懸命挑戦していることが遊びを楽しくします。「こんなことして何になるの」と思えば遊びではなくなります。親も本気で遊ぶが、遊びだから本気でない。チャンバラごっこをしていて人が本当に血を流していたら大変です。でも、遊びだから本気じゃないという側面があるからこそ楽しく夢中になれると思います。大人が子どもと遊ぶためには、大人側、つまり養育者やセラピストが、遊ぼうという気持ちで思いっきり遊びに没頭することがまず大事だと思います。

## §3. 遊びの発達

次に、遊びがどのように発展して将来はこうしたいとかこんな仕事に就きたいとかという将来の目標設定や自己決定に繋がっていく過程を述べます。

乳児時期の親が子どもにする摂食や排泄などの生理的制御の対する世話も、親子の社会的交流が背景にあるからこそ成立します。まず親が子供に向かって話かけます。例えば、「今からおむつ換えよか」と言ったらまたまその時乳児が手をあげたら、親はそれを今言ったことへの返事と思えて「はい」と言ったように受け取る。そして、「いっぱいウンチ出たね」「すっきりしたね」とか言いながらやっている。このように、ただ単なる哺乳とか排泄の始末などの生理的欲求への養育者の対応は、もくもくと黙って処理するのでなく社会的交流の中で育まれています。子どもを育てる行為の根底には、社会的交流や情動的作用が根底をなしています。子どもに視線を向けて子どもが喜んだ表情をしたとき、親がもっと笑わせてあげようとか、今はあまり興奮させないで寝かせようとか、そのときの状況に応じて対処していきます。養育者は子どもの様子を映し出し、映し出された子どもはそれが自分自身と思うわけです。そして、子どもは、愛されている自分だということを感じることができ安心・安定するわけです。鯨岡先生も盛んに述べられていますが、子どもをどういう具合に映し出すかによって、その子の心が決まってくる。そういうことが赤ちゃんの頃から既に始まっています。赤ちゃんの振る舞いとして

は、手の動きとか表情の多様性は多くありませんが、親はそれに対して「今からごはん」とか「今からお買い物」とかぐずったらぐずったで「眠たいのねー」とか、生活状況の応じたバリエーションある対応をすることになります。

遊びは意識の問題ですから、幼い子どもには、まだ遊んでいるという意識がありません。子どもは、生活環境周囲をいろいろ探索しますが、構成的遊びやファンタジーへ子ども自身が自ら発展していくわけではありません。子どもは、どの様に遊んでいいのか分からない状態です。遊びが遊びとして成立するためには、自分と遊んでくれる大人から多くのことを学習しなければなりません。例えば、木の棒を人に見立てて「ただいまー」とか「おかえりなさい」とか、車に見立てれば「ブーブー」といって木の棒をテーブル上で動かしたりします。まずは、大人が子どもに遊ぶ手立てを示すあげること、子どもはこのようにしたら遊べることを学びます。そして、子ども同士や子ども一人ででも再現したり、自分なりの遊びへ展開したりします。大人の方で子どもとの遊びが苦手という場合もあります。我々は、先輩のセラピストや保育士の先生方の子どもや養育者の方とやり取りや遊び方を横目で見ながら学んできました。子どもとの遊びがうまくお母さんでも、子どもと1対1の時間が長いと閉塞的な空間で遊びの展開がマンネリ化したり、お母さんの表情も生き生き輝く瞬間が減少したりします。そこで、お母さん同士や保育士の先生方やセラピストとのコミュニケーションの中で、たとえお母さんが受身的状態であっても笑顔で大きな声で笑い輝く瞬間がありさえすれば、お母さんの遊びのセンスを磨いていくということに繋がります。もし、その場に子どもが居たら子どもはその楽しい雰囲気を感じ取り笑顔やしぐさで表現してくれるでしょう。そして、子どもの表現の表情の変化が、お母さんの今までと違った次の対応に結びつきます。このように、子どもと養育者の相互の映しあいが発展して、そのバリエーションが増えてきます。遊びは、人と人相互のコミュニケーションであり、人が人を認め映しあう作業と考えています。一人遊びは、このような過程を十分経験して可能になります。

私たちが大人になると次の世代に遊びの内容や方法を伝えています。自分が小さいときに親や子供同士で遊んだこと、例えば草笛とか、魚取りとか地方ごとに育まれた遊びを伝承していきます。この伝承作業の中で子供は、何を学習するかというと、「見立てる」ことや「つもり」になって振舞うことだと考えます。この点が哺乳類の中でも人類特有の遊びとなります。何かに見立てるとか、何かのつもりで遊ぶということが大事になってきます。例えば、自分がダンボール箱に乗って競馬のつもりとか、騎手のつもりになる。このような行為は、言葉の発達とも関わってきますし、自分がどの様に振舞えば人に

受けいられるかを学習する過程でもありません。そして、それは同時に物事をまとめ挙げる過程、創造する過程、ファンタジーの過程でもあります。そして、大人は、子どもの振る舞いに関わりながら「あなたのやっていることは、こういうことですよ。」と一緒に遊びながら称賛を与えたり、競争したりなどしながら肯定的に受け入れたり、時には子どもの行為を修正しながら関わります。「見立て」や「ふり」は、どのような遊びの場でも必然的に生じるものであり、たとえその意識がなくとも我々は対象を何かに見立て振舞っていると思います。

成人になると職場や家庭・友達同士などそれぞれの場に応じた振舞いができることに繋がっていくと推測します。子ども時代に多様な遊びを十分経験することは、大人社会に適応するための準備段階になっています。ままと遊びやお医者さんごっこなどそのつもりになって遊びを展開していきます。大人が乳幼児と関わるときもこのように子どもと向かいあい、見立てやつもりを利用して関わりを展開します。見立てやつもりがうまく利用できると同じ一つの対象物でもバリエーションある対応が可能になります。ボールのやり取りでもボールを「車」に見立てたり「おにぎり」に見立てたりするだけで遊びが広がります。人が周りの対象物を何かに見立てる・何かのつもりで振舞うことは、周囲の環境や状況をどのように解釈するかということを経験する過程と考えています。

次に、子ども同士の遊びについて述べます。子どもは、一人一人異なった家庭環境で育ってきます。個々の育ってきた環境が違っていると、当然習慣や家族の振る舞い方も異なります。それぞれ違った環境で育った子ども同士が出合うとこれまで何の抵抗に合うこともなく家庭で認められていたものが、子ども同士では了解を得ることができません。子どもが手を差し出せばすぐに養育者がフォークを持って来てくれるなど、日常生活の状況から大人が先読みして対応してくれていましたが、子ども同士では一つ一つの振る舞いの意味が理解できません。例えば、木片を車に見立てて、「ぶーぶー」と振舞っても、他の子どもは、「車ではなく、ダイコン」と言い出せば遊びが成立しなくなります。また、養育者の持っている物を子どもが取ろうとしても本気で奪い合うことはありません。しかし、子ども同士では奪い合いになります。子どもは、これまでの経験をお互いに突き合わせながらも自分を押し通すことで喧嘩になります。そして、徐々に子供同士の関係性を維持



するための妥協とか協調することを覚えていきます。子ども同士の喧嘩は、大人が直ちに止めるよりある程度させた方が良くと考えます。大事なことは、仲直りの仕方です。「あなたはこうして欲しかったの、この子はこうして欲しかったの、じゃあこうしようか」というように具体的に対応して、協調することを覚えていく。喧嘩は、決して悪いことではなく、むしろ起こりうることであり人と人との関係性の維持するための絶好の学習の機会になると考えます。喧嘩をしないと、何が正しくて、どのようにすれば相手に受け入れられて、どれがダメなのかということが体験として学習しにくくなります。ごっこ遊びや喧嘩をしながらも妥協や協調点を見出しある程度の基本的な人との関係が、小学校入学ぐらいまでにできるようになります。このことは、養育者の行動見本による遊びとは違い他者の気持ちを推測して友達に援助を頼んだり援助したり、子ども仲間の役割分担などに繋がっていくと考えます。

そして、小学校に入学すると遊びの場でも子ども同志の間で競争すること今まで以上に盛んになります。そして、あの子は竹馬が上手で一輪車にも乗れるが、自分は竹馬にうまく乗れないが、給食が一番に食べ終わるとか。勉強はできないけどサッカーが得意とか。他者と競い合うことで他者との間にただ単に優劣をつけるのではなく、「自分の得意なことは何か」「自分は何に向いているのか」とかいうことを見出していく過程と捕らえています。

競争を繰り返す共にファンタジーの世界も同時に広がってきます。「目指す野球選手になった気分バッティングする」とか「AKB48のふりやつもりで振舞う」「尊敬する科学者のしぐさを真似る」というように一人でも「〇〇のつもり」で振舞うことができます。これは、ごっこ遊びの延長にある遊びの発展と捕らえています。この時期のファンタジーの世界で自分自身を移し替えて行く作業は、単に虚構の世界に埋没して現実逃避しているのではなく、将来こんな職業につきたいとか、このように生きたいとか、この様に社会に役立ちたいとか、など自分自身の将来像を具体的に模索する準備作業と考えています。

このように養育者から遊びの方法を教わり、そして、ごっこ遊びに夢中になり喧嘩したり競争したりしながら遊ぶ過程を習得することは、養育者から受け継いだ価値観を再認していく場であると同時に自らの価値観を見出し自らの将来を自己決定するための様々な判断材料を取り揃えていく過程と考えています。

後編では脳と姿勢に着目して遊びについて考えていきたいと思えます。

体に合った車いす・目的に合った車いす  
をご提供します  
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社/福岡市中央区天神 5-4-15  
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原 3丁目 9-20  
TEL/092-938-2208  
HP/http://www.takisyokai.co.jp



## タキ商会



## 平成26年度 第4回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 日 時：平成26年8月11日（月） 19時00分～23時00分  
II. 場 所：株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン  
III. 理事総数：20名  
IV. 出席理事数：17名  
V. 出席者氏名：志井田太一、竹中祐二、中川昇、白山義洋、深町晃次、  
田中真純、轟木健市、椋学美、榎本孝史、菅沼一平、  
濱本孝弘、佐藤稔、手島智康、大田登志樹、平岡敏幸、玉野和男、  
有久勝彦（以上、理事）  
吉田秀樹、原口健三（以上、監事）  
鐘ヶ江秀俊、田邊慎一、藤崎実知子（以上、事務局）  
欠席者氏名：座小田孝安、福田裕樹、沖雄二（以上、理事）（敬称略）

### VI. 審議事項

#### 1. 特別支援教育OTミーティングについて（濱本孝弘保健福祉部担当理事）

開催についての詳細案の報告があった。今後行われていく「特別支援学校機能強化モデル事業」に協会として積極的に会員を派遣していくためにも必要な事業であるとして開催することとなった。

以下の講師依頼について報告

嶋井須賀子氏（現在教育機関での講師等実施 作業療法士）

豊島真弓氏（こども発達ルーム 作業療法士）

日田勝子氏（福岡国際医療福祉大学 作業療法士）

→承認

#### 2. 会員派遣事業に向けての役割分担について（志井田太一代表理事）

「介護予防市町村支援事業実施に関する研修会」（平成26年8月9日開催）の参加報告があり、県協会として各事業に会員派遣をする準備の詳細について審議した。

→承認

#### 3. 会員の福利厚生事業について（深町晃次福利部担当理事）

ハーモニーランド期間限定特別優待についての提案があり、審議した。

→承認

#### 4. 教育部身障分野研修会について（白山義洋教育部担当理事）

以下の講師依頼について報告

下堂園恵氏（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

運動機能修復講座リハビリテーション医学教授）

田邊浩文氏（田邊浩文C Iセラピー研究所所長 作業療法士）

→承認

#### 5. 教育部発達分野研修会について（白山義洋教育部担当理事）

以下の講師依頼について報告

嶋下賢一氏（静岡県立こども病院 作業療法士）

→承認

#### 6. 教育部現職者共通研修会について（白山義洋教育部担当理事）

以下の講師依頼について報告

中川昇氏（療養介護事業所ひなた家 作業療法士）

近藤昭彦氏（麻生リハビリテーション大学校 作業療法士）

榎本孝史氏（北九州リハビリテーション学院 作業療法士）

志井田太一氏（福岡県作業療法協会会長 作業療法士）

青山克実氏（麻生リハビリテーション大学校 作業療法士）

靱井剛士氏（健康リハビリテーション内田病院 作業療法士）

久野真矢氏（九州栄養福祉大学大学院 作業療法士）

大丸幸氏（九州栄養福祉大学 作業療法士）  
森光洋子氏（北九州リハビリテーション学院 作業療法士） →承認

7. 教育部現職者選択研修会（老年期分野）について（白山義洋教育部担当理事）

以下の講師依頼について報告

近藤敏氏（県立広島大学 作業療法士）  
谷川良博氏（広島都市学園大学 作業療法士）  
都甲幹太氏（介護老人保健施設あやめの里 作業療法士）  
菅沼一平氏（福岡今津赤十字病院 作業療法士）  
青山克実氏（麻生リハビリテーション大学校 作業療法士）

→承認

8. 平成26年度訪問リハビリテーション実務者研修会について（濱本孝弘保健福祉部担当理事）

以下の講師依頼について報告

川越雅弘氏（国立社会保障・人口問題研究所）  
柏木秀行氏（麻生飯塚病院 医師）  
奥園秀史氏（福岡県保健医療介護部高齢者支援課長）  
西田恭子氏（通所介護なないろ 理学療法士）  
佐藤孝臣氏（株式会社ライフリー 作業療法士）

→承認

9. 筑後ブロック研修会について（轟木健市筑後ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告

河添竜志郎氏（株式会社くますま 代表取締役 理学療法士）

→承認

10. 福岡東ブロック研修会について（大田登志樹福岡東ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告

吉村恵三氏（九州中央病院 理学療法士）

→承認

11. 筑豊ブロック研修会について（平岡敏幸筑豊ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告

佐々木嘉光氏（明徳会十全病院 技師長 日本理学療法士協会理事）

→承認

12. 北九州ブロック研修会について（玉野和男北九州ブロック担当理事）

以下の講師依頼について報告

益満美寿氏（熊本保健科学大学 リハビリテーション学科 作業療法士）  
近藤敏氏（県立広島大学 作業療法士）  
小林真司氏（可也病院 作業療法士）

→承認

13. 生活行為向上マネジメント研修会について（濱本孝弘保健福祉部担当理事）

以下の講師依頼について報告

都甲幹太氏（介護老人保健施設あやめの里 作業療法士）

→承認

14. 障害厚生年金受給資格の改正を求める請願について（平岡敏幸筑豊ブロック担当理事）

県協会会員への協力の可否についての審議があった。

→承認

15. 会員の入会について（中川昇理事）

平成26年6月1日から平成26年7月31日までの間に81名の入会があった。 →承認

VII. 協議事項

1. 第43回医療功労賞について（手島智康規約委員会担当理事）

第43回医療功労賞の応募について報告があった。

→継続検討

2. ジャーナル査読規定案の変更について（有久勝彦学術部担当理事）



ジャーナル査読規定の変更について提案があり協議した。

→継続検討

## VIII. 報告事項

### 1. 代表理事行動について（志井田太一代表理事）

平成26年6～7月の代表理事行動について報告があった。

### 2. 県協会宛て依頼案件について（志井田太一代表理事）

平成26年6月1日から7月31日までの間に県協会宛てに件の依頼（研修会案内依頼7件、講師・委員派遣依頼3件、共催・後援依頼7件、その他依頼3件）があったとの報告があった。

### 3. 災害対策担当について（志井田太一代表理事）

県協会の災害対策担当として、竹中業務執行理事があたるとの報告があった。

### 4. 作業療法推進活動パイロット事業助成制度募集について（志井田太一代表理事）

作業療法推進活動パイロット事業助成制度について報告があった。

### 5. 教育部研修会報告について（白山義洋教育部担当理事）

本部協会主催研修会への派遣参加について報告があった。

### 6. 第19回福岡県作業療法学会の進捗状況について（有久勝彦学術部担当理事）

第19回福岡県作業療法学会の準備状況について報告があった。

## IX. 次回開催日

平成26年度 第5回理事会

日時：平成26年10月6日（月）19：00～

場所：株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

# 国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス（福岡県福岡市）  
大川キャンパス（福岡県大川市）  
熊本キャンパス（熊本県熊本市）

## 【修士課程】保健医療学専攻

看護学分野  
ナースプラクティショナー  
養成分野  
助産学分野  
理学療法学分野  
作業療法学分野  
言語聴覚分野  
福祉援助工学分野  
放射線・情報科学分野  
リハビリテーション学分野  
生殖補助医療胚培養分野  
視機能療法学分野

## 医療福祉学専攻科



平日夜間・土曜開講で働きながら修学可能！  
短大卒・3年制専門学校卒で進学可能！（修士課程）

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

【福岡天神キャンパス】〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1

TEL:092-739-4321 E-mail:fukucamp@iuhw.ac.jp

【大川キャンパス】〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1

TEL:0944-89-2000 E-mail:occamp@iuhw.ac.jp

【熊本サテライトキャンパス】〒861-8045 熊本県熊本市小山2-25-35(熊本リハビリテーション学院内)

TEL:096-389-1133 FAX:096-389-1135

## 【博士課程】保健医療学専攻

看護学分野  
理学療法学分野  
作業療法学分野  
言語聴覚分野  
福祉援助工学分野  
リハビリテーション学分野  
放射線・情報科学分野  
視機能療法学分野  
創薬育薬医療分野  
医療福祉経営学分野  
先進的ケア・ネットワーク  
開発研究分野  
医療福祉学分野  
生殖補助医療胚培養分野  
医療福祉国際協力学分野

## 【修士課程】医療福祉経営専攻

医療経営管理分野  
診療情報アナリスト  
養成分野  
創薬育薬医療分野  
がん薬物療法学分野  
先進的ケア・ネットワーク  
開発研究分野  
医療福祉学分野  
医療福祉ジャーナリズム分野  
医療福祉国際協力学分野

## 平成26年度 第5回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

平成26年度 第5回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成26年10月6日(月) 19時00分～22時20分  
II. 場所 : 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン  
III. 理事総数 : 20名  
IV. 出席理事数 : 17名  
V. 出席者氏名 : 志井田太一、竹中祐二、座小田孝安、中川昇、白山義洋、深町晃次、田中真純、轟木健市、榎本孝史、福田裕樹、濱本孝弘、佐藤稔、手島智康、大田登志樹、平岡敏幸、玉野和男、有久勝彦(以上、理事)  
吉田秀樹、(以上、監事) 鐘ヶ江秀俊、田邊慎一、藤崎実知子(以上、事務局)  
欠席者氏名 : 椋学美、菅沼一平、沖雄二(以上、理事) 原口健三(以上、監事) (敬称略)

### VI. 審議事項

#### 1. 特別支援教育OTミーティングについて(濱本保健福祉部担当理事)

継続審議となっていた特別支援教育OTミーティングの開催について日程・参加費等詳細案の報告。 →承認

#### 2. 住宅改修福祉用具関連対策委員会からのホームページ掲載のお願い(濱本保健福祉部担当理事)

県協会ホームページに福祉機器関連のページを作成することについて提案があった。掲載の形式など詳細を継続検討。 →継続検討

#### 3. 教育部研修会について(白山教育部担当理事)

地域分野研修会について以下の講師依頼を報告。 →承認  
高森聖人氏(株式会社 空色 福祉事業部統括部長 作業療法士)  
佐藤暁氏(井野辺病院 在宅リハケアセンター かく センター長 作業療法士)

#### 4. 第19回福岡県作業療法学会における講師について(有久学術部担当理事)

以下の講師依頼について報告。 →承認  
近藤敏氏(県立広島大学 作業療法士)  
杉長彬氏(久喜すずのき病院 作業療法士)  
寺岡睦氏(大杉病院 作業療法士)  
磯田重行氏(就労継続B型ピアつばめ 施設長)  
福島勇氏(南福岡特別支援学校)  
高杉紳一郎氏(九州大学病院整形外科 准教授)  
深堀元文氏(今宿病院 院長)

#### 5. 保険委員会主催研修会について(福田保険委員会担当理事)

以下の講師依頼について報告。 →承認  
村井千賀氏(厚生労働省老健局課長補佐 作業療法士)

#### 6. 筑豊ブロック研修会について(平岡筑豊ブロック担当理事)

以下の講師依頼について報告。 →承認  
轟木健市氏(帝京大学 作業療法士)  
金原憲子氏(嘉麻市地域生活支援センター高齢者介護課 課長補佐兼介護予防係長)

#### 7. 北九州ブロック研修会について(玉野北九州ブロック担当理事)

以下の講師依頼について報告。 →承認  
福田久徳氏(小倉リハビリテーション病院) 作業療法科学について

8. 第25回全国ふうせんバレーボール大会ハンディキャップレベル判定員派遣について  
（玉野北九州ブロック担当理事）

以下の会員を派遣することが報告された。

→承認

津川文信氏（上野病院）  
今吉福美氏（おかがき病院）  
小川雄基氏（おかがき病院）  
安部千秋氏（小倉リハビリテーション病院）  
眞珠宗彦氏（小倉リハビリテーション病院）  
三村和礼氏（小倉リハビリテーション病院）  
堤皓平氏（御所病院）  
釘本寛子氏（福岡徳洲会病院）  
眞戸原新一氏（福岡徳洲会病院）  
手島雄太氏（松岡病院）  
恵良裕一氏（高山病院）  
岩城健三氏（松恒園通所リハビリ）  
玉野和男氏（松恒園通所リハビリ）  
相良恵美子氏（新生会病院）  
東條学氏（飯塚記念病院）  
平岡敏幸氏（飯塚記念病院）  
福田寛徳氏（飯塚記念病院）  
増田達也氏（飯塚記念病院）  
和田亜耶子氏（飯塚記念病院）  
有馬祐二氏（福岡新水巻病院）

9. 中間監査報告について（中川事務局長）

平成26年4月から9月までの事業報告・決算に関する中間監査報告。

→承認

10. 会員の入会について（中川事務局長）

平成26年8月1日から平成26年9月24日までの間に46名の入会があった。

→承認

VII. 協議事項

11. 第19回福岡県作業療法学会趣意書について（有久学術部担当理事）

第19回福岡県作業療法学会の趣意書について報告。

→承認

12. 第20回福岡県作業療法学会の学会役員選定について（有久学術部担当理事）

以下のように役員が提案があった。

→承認

学会長 古賀昭彦氏（帝京大学福岡医療技術作業療法学科）  
副学会長 長彰純氏（久留米リハビリテーション学院）  
実行委員長 大村洋介氏（高木病院）

13. 第19回福岡県作業療法学会広報ポスター・チラシについて（有久学術部担当理事）

内容・部数などについて提案。テーマについては再度三役にて検討することとなり、その他の内容については承認された。

→一部継続検討の上承認

14. 第19回福岡県作業療法学会ナイトセミナーの開催について（有久学術部担当理事）

学会ナイトセミナーの開催について提案。

→継続検討

15. 第19回福岡県作業療法学会印刷業者選定について（有久学術部担当理事）

学会印刷業者について2社に見積もりを依頼。協議の結果、エポック株式会社に依頼する。

→承認

16. ジャーナル「作業療法・福岡」第13号における執筆依頼について（有久学術部担当理事）  
 以下のように執筆依頼することを提案。 →承認  
 巻頭言 玉野和男理事  
 特集 瀧雅子氏（誠愛リハビリテーション病院）  
 近藤敏氏（県立広島大学）
17. ジャーナル「作業療法・福岡」第13・14号における査読委員について（有久学術部担当理事）  
 以下のように査読委員を依頼することを提案。 →承認  
 第1査読 原口健三氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 教授）  
 瀧雅子氏（誠愛リハビリテーション病院 副院長）  
 久野真矢氏（九州栄養福祉大学大学院健康科学研究科 教授）  
 日田勝子氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 准教）  
 第2査読 新川寿子氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 准教）  
 音琴慎一氏（福岡和白リハビリテーション学院専任教員）  
 石橋英恵氏（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 講師）  
 武本暁生氏（産業医科大学病院 作業療法士）  
 平岡敏幸氏（飯塚記念病院 作業療法士）  
 西園晋明氏（飯塚記念病院 作業療法士）
18. 地域包括ケアシステムへの対応に向けた進捗状況について（志井田代表理事）  
 進捗状況について提案。各ブロックで市町村の情報把握に努めることとし引き続き継続  
 検討していく。 →継続検討
19. 福岡県作業療法協会の休会制度について（中川事務局長）  
 県協会の休会制度の内容について提案。 →継続検討
20. 福岡ブロック エリア会名称変更・地区統合について（棕福岡ブロック担当理事）  
 福岡ブロックのエリア会名称変更・地区統合について提案。他ブロックの名称なども合わせて  
 継続検討する。 →継続検討

#### VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。）

21. 代表理事行動について（志井田代表理事）  
 平成26年8～9月の代表理事行動について報告があった。
22. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）  
 平成26年8月1日から9月30日までの間に県協会宛てに24件の依頼（研修会案内依頼11  
 件、講師・委員派遣依頼5件、共催・講演依頼4件、その他依頼4件）があった。
23. 会員管理システム講習会参加報告について（中川事務局長）  
 日本作業療法士協会主催の会員管理システム講習会に深町福利部担当理事、鐘ヶ江氏（事務  
 局）が参加。内容について報告。
24. 教育部主催研修会開催予定について（白山教育部担当理事）  
 今後の研修会開催予定について以下のように報告があった。  
 発達分野研修会 平成27年1月18日（日）麻生リハビリテーション大学校  
 身障分野研修会 平成26年11月2日（日）麻生工科自動車大学校  
 地域分野研修会 平成27年2月1日（日）福岡医健専門学校  
 現職者共通研修 第1回 平成26年11月8日（土）小倉リハビリテーション学院  
 第2回 平成27年2月14日（土）アクロス福岡（県OT学会と共催）  
 現職者選択研修  
 （老年期分野）平成26年10月19日（日）麻生リハビリテーション大学校

25. 第19回福岡県作業療法学会の進捗状況について（有久学術部担当理事）  
第19回福岡県作業療法学会の準備状況について報告。
26. 平成26年度年末年始の福利厚生事業について（深町福利部担当理事）  
平成26年度年末年始の福利厚生事業計画案について報告。
27. ハートメディア講演会について（榎本事業部担当理事）  
平成26年10月15日（水）にハートメディア講演会が開催されることについて報告。
28. OTの日イベントについて（榎本事業部担当理事）  
9月25日のOTの日イベントとして、日本作業療法士協会及び福岡県作業療法協会の啓発ポスターを各施設に配布した。
29. 福岡県地域ケア会議実務者研修について（濱本保健福祉部担当理事）  
福岡県地域ケア会議実務者研修の参加報告があった。
30. 障害厚生年金受給資格改正署名活動について（平岡筑豊ブロック担当理事）  
障害厚生年金受給資格改正署名活動依頼の鏡文案について報告があった。

#### IX. 次回開催日

平成26年度 第6回理事会

日時： 平成26年12月1日（月）19：00～

場所： 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン





## 平成26年度 第6回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成26年12月1日(月) 19時00分～22時40分  
II. 場所 : 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン  
III. 理事総数 : 20名  
IV. 出席理事数 : 17名  
V. 出席者氏名 : 志井田太一、竹中祐二、座小田孝安、中川昇、白山義洋、深町晃次、田中真純、轟木健市、榎本孝史、沖雄二、佐藤稔、手島智康、大田登志樹、平岡敏幸、玉野和男、有久勝彦、椋学美、(以上、理事) 吉田秀樹、原口健三(以上、監事) 鐘ヶ江秀俊、田邊慎一、藤崎実知子(以上、事務局)  
欠席者氏名 : 菅沼一平、濱本孝弘、福田裕樹(以上、理事)(敬称略)

### VI. 審議事項

- 1. 平成27年度事業計画及び予算案について(中川事務局長)**  
平成27年度の事業計画・予算案について提案。 →承認
- 2. 教育部研修会の講師について(白山教育部担当理事)**  
現職者研修会について以下の講師依頼を報告。 →承認  
鐘ヶ江秀俊氏(療養介護事業所ひなた家 作業療法士)  
青山克実氏(麻生リハビリテーション大学校 作業療法士)  
手島智康氏(株式会社らそうむ 作業療法士)  
志井田太一氏(福岡県作業療法協会代表理事 作業療法士)  
音琴慎一氏(福岡和白リハビリテーション学院 作業療法士)  
梶井剛士氏(健康リハビリテーション内田病院 作業療法士)  
佐野幹剛氏(九州栄養福祉大学 作業療法士)  
大丸幸氏(九州栄養福祉大学 作業療法士)  
永田敬生氏(福岡医健専門学校 作業療法士)
- 3. 第19回福岡県作業療法学会における講師について(有久学術部担当理事)**  
学会の教育講演について以下のように講師を依頼。 →承認  
佐野暁氏(井野辺病院在宅ケアセンターかく) 地域ケア会議について
- 4. 福岡ブロック研修会について(椋福岡ブロック担当理事)**  
以下の講師依頼について報告。 →承認  
坂井幸太氏(福西会病院リハビリテーションセンター)
- 5. 北九州ブロック研修会について(玉野北九州ブロック担当理事)**  
以下の講師依頼について報告。 →承認  
四元孝道氏(九州栄養福祉大学) 高次脳機能障害について
- 6. 戸畑区リハビリテーションフェアの講師について(玉野北九州ブロック担当理事)**  
以下の講師依頼について報告。 →承認  
安永昌徳氏(宗像アコール) 作業療法士
- 7. 会員の入会について(中川事務局長)**  
平成26年9月25日から平成26年11月20日までの間に53名の入会があった。 →承認
- 8. 平成26年度社員総会の開催について(中川事務局長)**  
以下のように社員総会の開催を提案。 →承認  
開催日時 平成26年2月15日(日) 15:30～  
会場 アクロス福岡606会議室

VII. 協議事項

9. 戸畑区リハビリテーションフェア2014について（玉野北九州ブロック担当理事）  
北九州市担当者から県協会へ参加協力依頼があったことの報告があり、参加が承認。 →承認
10. 第20回福岡県作業療法学会の学会準備委員会選定について（有久学術部担当理事）  
以下のように準備委員会の提案があった。 →承認
- |      |                       |
|------|-----------------------|
| 学会指南 | 岩佐親宏氏（久留米大学医療センター）    |
| 運営部  | 山下和希氏（川崎病院）           |
| 査読部  | 村元聖治氏（八女リハビリテーション病院）  |
| 財務部  | 森脇悦子氏（やながわ訪問看護ステーション） |
| 総務部  | 萩島秀顕氏（静光園第二病院）        |
11. 第19回福岡県作業療法学会当日運営委員説明会の開催について（有久学術部担当理事）  
学会当日運営委員説明会を平成27年2月6日（金）福岡赤十字病院 椎木記念ホールにおいて開催することの提案があった。 →承認
12. 第19回福岡県作業療法学会ナイトセミナーの開催について（有久学術部担当理事）  
継続検討となっていた会場、テーマ、内容などについて提案があった。 →承認
13. 「地域ケア会議アドバイザー派遣及び地域支援事業への参画準備」について（志井田代表理事）  
平成27年度から県内で開催予定の地域ケア会議への会員派遣の準備について提案があった。三士会との連絡調整は志井田代表理事が務め、各市町村の準備状況などの把握に努めていく。その他詳細については引き続き継続検討していく。 →継続検討
14. ジャーナル「作業療法・福岡」第13号における印刷業者選定について（有久学術部担当理事）  
印刷業者について3社に見積もりを依頼。協議の結果、石川特殊特急製本株式会社に依頼することとなった。 →承認
15. S I G登録申請について（白山教育部担当理事）  
以下のS I G申請（1件）があった。 →承認  
OT技術教育研修会
16. 福岡県作業療法協会の休会制度について（中川事務局長）  
継続検討となっていた県協会の休会制度の内容について提案。平成27年4月1日より施行。 →承認
17. 規約集作成に対する内容の確認について（手島規約委員会担当理事）  
規約集の内容についての提案。 →承認
18. 介護実習普及センター研修会講師派遣について（田中渉外部担当理事）  
櫻木美穂子氏（福祉用具プラザ北九州）を研修会講師として派遣することを提案。 →承認

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。）

19. 代表理事行動について（志井田代表理事）  
平成26年10月11月の代表理事行動について報告があった。
20. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）

平成26年10月1日から11月20日までの間に県協会宛てに42件の依頼（研修会案内依頼17件、講師・委員派遣依頼12件、共催・講演依頼4件、その他依頼9件）があったとの報告があった。

**21. アルバイトに対する賃金の変更について（中川事務局長）**

平成26年10月5日に福岡県最低賃金の改正（1時間727円）が発効された為、県協会事業における学生アルバイトに対する賃金を1時間730円に変更する。

**22. 中間監査について（事務局鐘ヶ江氏）**

平成26年10月27日に中間監査が行われたことの報告があった。吉田監事、原口監事より概ね良好に運営されているという報告があった。

**23. 教育部主催研修会開催報告について（白山教育部担当理事）**

研修会開催内容について報告。

**24. 第19回福岡県作業療法学会の進捗状況について（有久学術部担当理事）**

準備状況について報告。

**25. 渉外部活動及び講師派遣報告について（田中渉外部理事）**

平成26年10月11月の渉外活動及び講師派遣内容について報告。

**26. ハートメディア講演会について（榎本事業部担当理事）**

平成26年10月15日（水）に開催されたハートメディア講演会（市民公開講座）の報告があった。参加者50名（関連職種30名、一般20名）。

**27. 保険委員会主催研修会について（座小田業務執行理事）**

以下の研修会の開催予定報告があった。

保険委員会主催研修会 平成27年1月17日（土）

三団体研修会（訪問リハ）平成27年2月7日（土）8日（日）

**28. 西日本国際福祉機器展2014について（佐藤企画委員会担当理事）**

平成26年11月7日～9日に開催された西日本国際福祉機器展2014の報告があった。作業療法体験コーナーに406名の体験者があった。

**IX. 次回開催日**

平成26年度 臨時理事会

日時： 平成26年2月2日（月）19：00～

場所： 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン



## 各部・委員会からのお知らせ

### 【教育部】

#### 1. 主催研修会開催報告

##### 1) 現職者選択研修：老年期分野

日時：平成26年10月19日（日） 9:10～16:30

会場：専門学校麻生リハビリテーション大学校  
テーマ&講師：

テーマ1：『老年期の基礎』

近藤 敏 OT（県立広島大学）

テーマ2：『老年期の作業療法実践トピックス』

菅沼 一平 OT（福岡今津赤十字病院）

テーマ3：『老年期作業療法の治療的枠組み』

青山 克実 OT（専門学校麻生リハビリテーション大学校）

テーマ4：『地域生活を支援する生活行為向上マネジメント』

谷川 良博 OT（広島都市学園大学）

都甲 幹太 OT（介護老人保健施設あやめの里）

参加数：82名（福岡県OT78名、他県士会OT4名）

##### 2) 身障分野研修会

日時：平成26年11月2日（日） 10:00～15:00

会場：麻生工科自動車大学校（福岡市博多区東比恵2-8-28）

テーマ：『上肢機能のリハビリテーションの理論と実践』

講師①：下堂園 恵 Dr.（鹿児島大学大学院 歯学総合研究科 リハビリテーション医学教授）

講師②：田邊 浩文 OT（田邊浩文CIセラピー研究所）

参加数：93名（OT 93名）

##### 3) 第1回現職者共通研修

日時：平成26年11月8日（土） 14:00～17:10

会場：小倉リハビリテーション学院

テーマ & 参加数 & 講師：

区分1 ①作業療法生涯教育概論 31名 中川 昇 OT（福岡県作業療法協会 事務局長）  
近藤 昭彦 OT（麻生リハビリテーション大学校）

②職業倫理 39名 榎本 孝史 OT（北九州リハビリテーション学院）

区分2 ①作業療法の可能性 38名 志井田 太一 OT（福岡県作業療法協会 会長）

②事例報告と事例研究 38名 青山 克実 OT（麻生リハビリテーション大学校）

区分3 ①保健・医療・福祉と地域支援 41名 靱井 剛士 OT（健康リハビリテーション内田病院）

②実践のための作業療法研究 39名 久野 真矢 OT（九州栄養福祉大学大学院）

区分4 ①日本と世界の作業療法の動向 24名 大丸 幸 OT（九州栄養福祉大学）

②作業療法における協業・後輩育成 21名 森光 洋子 OT（北九州リハビリテーション学院）

#### 2. 今後の主催研修会開催予定（日程・会場）

##### 1) 分野別研修会

① 発達分野研修会：H27. 1. 18（日） 麻生リハビリテーション大学校

② 地域分野研修会：H27. 2. 1（日） 福岡医健専門学校

##### 2) 生涯教育制度関連研修会

① 現職者共通研修：第2回：H27. 2. 14（土）福岡アクロス（福岡県OT学会と共催）

3. SIG登録申請（理事会承認済み）：申請日 H26. 11. 1

1) 学会・研修会名：OT技術教育研修会

2) 代表者（職種）：室岡 真弘（OT）

3) 会員数：95名（内OT会員数 95名）

4) 申請者：鹿子 供宏（OT 高木病院）

### 【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：10月14日、11月12日、12月16日

#### 2. 広報部

「Joy Style 秋号」（11月）発行

Facebook：随時更新中

#### 3. 教育学術部

1) 『学習を基盤とした上肢機能訓練～課題指向型訓練を中心に～』

講師：竹林 崇先生（兵庫医科大学病院リハビリテーション部 作業療法士）

日時：平成26年11月16日（日） 10:00～13:30

会場：福岡赤十字病院（アネックス棟 椎木記念ホール）

参加：43名

2) 『環境の包括的評価・支援～質の高い安心した生活を実現するために～』

講師：藪脇 健司先生（吉備国際大学 保健医療福祉学部 作業療法学科 准教授）

日時：平成26年12月5日（金） 19:00～20:30

会場：福岡赤十字病院（アネックス棟 椎木記念ホール）

参加：37名

#### 4. エリア会

1) 城南・早良区エリア会

日時：平成26年12月8日

テーマ：作業療法に生かそう脳科学～半側空間無視はなぜ起こるのか～

講師：坂井 幸太先生（福西会病院 作業療法士）

会場：福西会病院

参加：13名

2) 第2回事例報告・検討会

日時：平成26年12月1日

会場：麻生リハビリテーション大学校

参加：発表 6名、聴講 6名

5. 第19回福岡県作業療法学会準備委員会開催：10月9日、11月4日、12月11日

### 【筑豊ブロック】

#### 1. 事業企画会議

##### 第4回 筑豊ブロック事業企画会議

日時：平成26年10月14日(火) 19:00～20:30

会場：飯塚記念病院 グランドホール

参加者：14名

#### 2. 研修会

##### 第4回 筑豊ブロック研修会

テーマ：「新人・中堅・主任セラピストの人材の育成 ～部門を育む仕掛けと仕組み～」

日時：平成26年10月22日(土) 13:30～18:00

会場：飯塚記念病院 グランドホール

講師：佐々木嘉光先生(十全病院、理学療法士)

参加者：51名(含 PSW3名、RPT3名、管理者1名、介護1名、学生1名)

##### 第1回 筑豊ブロック事例報告検討会

日時：平成26年11月19日(水) 19:00～21:30

会場：飯塚記念病院 グランドホール

発表者：吉田奈津美、山脇祐佳、津留崎航、品川伶子、片渕奨太、濱田志穂(健康リハビリテーション内田病院)、萩尾奈美(穎田病院)

座長：山本めぐみ(訪問看護ステーションあおぞら)

参加者：発表7名、聴講4名、その他12名

##### 第5回 筑豊ブロック研修会

日時：平成26年12月12日(金) 19:00～21:00

会場：飯塚記念病院 グランドホール

講師：轟木健市先生(帝京大学、福岡県作業療法協会理事)

参加者：25名

#### 3. 広報誌

筑豊OT TIMES 第10号 平成26年10月15日発行

### 【北九州ブロック】

#### 1. ブロック企画会議開催

日時：平成26年11月10日(月) 19:00～

場所：曾根東市民センター 大会議室

#### 2. 第3回北九州ブロック全体研修会

日時：平成26年12月8日(月) 19:00～20:45

会場：九州栄養福祉大学 小倉南区キャンパス

テーマ：「認知症初期における作業療法の支援」

講師：谷川良博氏(広島都市学園大学)

参加者：76名

#### 3. 第25回全国ふうせんバレーボール大会

日時：平成26年11月30日(日)

会場：北九州市立総合体育館

参加者：14名

(ハンディレベルチェックスタッフ)

### ＜小倉北・門司エリア＞

#### 1. エリア事業企画会議開催

日時：平成26年11月4日(火) 19:00～

場所：小倉リハビリテーション病院

### ＜小倉南・京築エリア＞

#### 1. エリア事業企画会議開催

日時：平成26年10月15日(水) 19:00～

場所：曾根東市民センター

#### 2. 第5回北九州ブロック研修会開催

日時：平成26年10月11日(金) 14:00～

会場：九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス

テーマ：「ケースを交えながらの発表原稿の作成方法、プレゼンする方法について」

講師：近藤敏氏(県立広島大学)

参加者：30名

#### 3. 作業療法啓発活動

日時：平成26年11月1日(土)

場所：小倉南区企救丘市民センター

スタッフ：7名

参加者：21名

(ビーズ体験・パンフレット配布)

### ＜八幡西・遠賀・中間エリア＞

#### 1. エリア事業企画会議開催

日時：平成26年10月23日(木) 19:00～

場所：リハデイ吉木

#### 2. 作業療法啓発活動

日時：平成26年10月19日(日)

「遠賀町健康福祉まつり」に参加  
スタッフ：7名(企画委員4名含む)

参加者：約140名

(ビーズ体験・リハ相談・体操)

### ＜戸畑・若松・八幡東エリア＞

#### 1. エリア事業企画会議開催

日時：平成26年10月7日(水) 19:00～

場所：あやめの里

#### 2. 第6回北九州ブロック研修会開催

日時：平成26年11月21日(金) 19:00～

会場：九州栄養福祉大学小倉南区キャンパス

テーマ：「作業科学について～作業科学に知識を学んだ実践～」

講師：福田久徳氏(小倉リハビリテーション病院)

参加者：72名



### 町立芦屋中央病院 本村 智子

はじめまして 遠賀郡芦屋町にある町立芦屋中央病院に勤務する本村智子と申します。松井病院衛藤まき先生よりのご紹介で今回このような機会をいただき光栄です。

私は昭和56年に作業療法士の資格を取得し、当院に入職し現在に至っており作業療法士としての経験は33年を迎えます。ここで町立芦屋中央病院の取り組みなどを含め紹介させていただきます。

当院は昭和51年10月に芦屋町民の強い希望により設立された町立病院です。一般病床97床、療養型病床40床（医療・介護）の137床の一般病院です。その他訪問看護ステーションや居宅介護事業所を有し、「住民に信頼される病院」「医療機関に信頼される病院」「職員に信頼される病院」を病院開設の理念として地域医療に励んでいます。現在、リハビリ科では理学療法士4名、作業療法士は私も含め2名、助手2名で、外来・入院・訪問リハビリを行い、運動器疾患（Ⅰ）・脳血管疾患（Ⅱ）・心大血管（Ⅰ）を算定しています。また行政と連携を取りながら介護予防事業にも参画しています。

入職した頃は、一年ほどの入院期間に各種のActivity（皮細工やモザイク等）を導入し、訓練室中をカレーの香りを漂わせた家事動作訓練などいろいろと思い出されます。今では病院も機能分化され、在院日数も非常に短くなり、私たちも収益や患者数の増減を常に考慮する必要があります。今ではリハビリ開始当初より目標を明確化し、運動機能のみならず認知面や環境面など多面的な視野を持ち、家族・医師・看護師・ケアマネージャーなどから情報収集し日々の訓練に活かしています。長年当院でのリハビリを行っていますと、患者様の様々な変化を見届けることが出来ることや親子でリハビリを担当しさせていただいたり、地域の方々や民生委員さんとも顔見知りであったり、退院後の関わりもスムーズに行えることいも多々あります。そのため迅速に患者様の希望に対応できる事が当院の強みとなっています。在宅希望の方には早期より退院前訪問を行い家族からの要望や自宅環境の確認を行い、階段昇降やトイレまでの移動や排泄時の行為などの数々の問題点を把握し訓練に活かすようにしています。私は、ケアマネージャー業務も行いながら、患者様が「いかに安心して自分らしく生活できるようにと」常に考えています。

最近では訪問リハビリ業務も多く、印象のあるケースでは婦人会の役員として活動されていた方が、入院中により活気がなくなり、リハビリにも集中できない状態でありました。そこで「家に早く帰りたい」「一人で生活したい」との本人の強い希望に対応して、各職種との連携を取りながら、他の介護サービスも含め、訪問リハビリを導入しました。自宅での家事（調理や洗濯干し）動作の動線確認や安全な外出手段などを中心とした訓練を行ううちに、方言交じりの丁寧な会話や自宅で作ったビーズ細工やくす玉などの手工芸品を見せて頂いたり「デイサービスでもほめられて作り方をみんなに教えているのよ」との潑刺とした表情を見て、患者様の生活に直に触れる事が出来、これも作業療法士として在宅を支える一助になれたと大変嬉しく思えました。

当院も平成27年4月より独立法人化され新たな「芦屋中央病院」として再出発します。高齢化が進むわが町でも「いくつになっても住み慣れて我が家で自分らしく生活したい」と希望される方は非常に多く、平成27年度には介護保険の改定や市町村における地域包括ケアシステムの導入と作業療法士の活躍の場もますます増えることでしょう。

今後も地域に尽力できるように日々の業務を行っていきたいと思っています。



## リレーエッセイ

### 株式会社シダー 佐藤 稔

気がつけば、国立善通寺病院附属リハビリテーション学院を卒業後、約20年が経ちました。現在は、公益社団法人福岡県作業療法協会企画委員会担当理事を務めています。企画委員会では、毎年、西日本国際福祉機器展や福岡県作業療法学会等にて作業体験ブースを出展していますが、数年前は、一般の方に作業療法を説明したところ、娘さんが作業療法の養成校へ入学したことを、翌年にわざわざ報告に来られたお母さんもいました。ちょっとした遊び心が人の心に届くことに感激し、今でも出展を行っています。平成27年2月14日（土）～15日（日）に開催される福岡県作業療法学会においても出展しますのでぜひお立ち寄りください。

現在の勤め先では、障がい福祉や介護保険関係の事業で管理職をしておりますが、40歳を過ぎ、振り返ると、今までは「自由気ままに生きてきたなあ」と思います。これからは、とにかく人のために・社会のために役に立つことをしようと思い、自分が住んでいる町で小学校のPTA会長や町内の子ども会会長・校区のまちづくり協議会の事務局等に携わっています。作業療法関連団体では、よく「地域」という言葉を聞きますが、まずは自分の暮らす地域を知ることが大切だと考えます。我が子や家族・自分自身の将来をどのように考え、どんなニーズがあるのか、自分には何ができるのか、そこから見出せる生活行為全般をさらに考えたいと思います。まじめなことばかり述べましたが、やはり人生はしたいことを追求しなければ面白くありません。これからも歌って踊れる作業療法士に磨きをかけ、趣味の野球・自転車・飲み会等を楽しみながら、心豊かな作業療法の発展に努めたいと思います。皆さん飲みに誘ってください！



### 社会福祉法人 薫風会 風の家（介護老人福祉施設） 山下 和徳

みなさんこんにちは。私は特別養護老人ホーム風の家で作業療法士をしています。風の家は、平成14年4月に開設。今では当たり前になっているユニットケアですが、北九州ではじめて特養に導入した施設です。北九州市八幡西区で若松区との境に位置し、少し足を運べば大学・大学院が集まっている（何と早稲田もあります）学研都市を見ることができます。とはいうもののその場所は、先の新興地とは異なり、「御開」という昔ながらの文化を持った土地でもあります。風の家は平成24年9月に式番館が出来、本館70床・式番館50床の併せて120床、加えて短期入所及びデイサービスを持つ施設です。また、場所は少し離れますが「風の里」というグループホームと小規模多機能型施設の複合施設もあり、ご利用者のニーズ及びデマンドに応じてサービスを提供出来るようにしています。さて、私のここでの仕事ですが特養なので機能訓練指導員ということになります。併せて本館介護課・生活相談課の管理をしています。以前勤めていた病院や施設等で、リハ活動時に小グループ化し職員とご利用者との関係性の下、ご利用者の思いに賛同できるような雰囲気を作り、それを大切にする事により穏やかな、しかしご利用者一人一人が主役になれる、また主体的な行動を誘発できる環境設定を苦労しながら行っていました。それらが風の家では、ユニットスペースを媒体として普通に日常生活でその様な事が出来ます。組織図上自分が直接ご利用者に接して日常生活



に関わるということは殆どありませんが、いろいろな意味で認められ安心した生活を過ごしているご利用者は生き生きとしています。風の家ではよく施設等で見かける時間刻みでの日課はありません。ご利用者の自己決定及びその時々気持ちを大切に、その思いの共有性により日々が作られていく感じです。日常生活を大切にする事により、意欲・生活意欲の維持・向上が図られ、結果的にはいわゆる訓練的な訓練をせずとも、心身機能の低下及び廃用を防ぎ、ケア＝リハの発想を通底させ、より有意義な状態・状況に導かれていると思っています。関わる介護スタッフは大変ですが、本気に介護を描く職員には充実度は高いと思います（OTの皆様優秀な介護職員のご紹介お願い致します・笑）。但しこれらは、生活機能に関わる事と考えれば作業療法と何も変わらないとも言えます。



## 医療法人 松崎クリニック

- 【募集職種】 作業療法士又は理学療法士  
【募集人員】 1人  
【雇用形態】 パート  
【給 与】 時給1,200円  
【賞 与】 なし  
【勤務時間】 13:00～17:00  
【休 日】 土・日・祭日  
【福利厚生】 なし  
【その他】 交通費20,000円まで支給  
【備 考】 平成27年12月28日までの勤務  
【連絡先】 福岡市東区松崎2-22-6  
Tel: 092-672-1700  
Fax: 092-672-5777  
担当 専務 松原

## 福岡赤十字病院

- 【募集職種】 作業療法士  
【募集人員】 2名  
【雇用形態】 常勤嘱託職員  
【給 与】 大卒184,500円～(経験年数加算有)  
3年課程159,300円～(経験年数加算有)  
【賞 与】 年3.16ヶ月(H25年度実績)  
※規程による  
【勤務時間】 8:30～17:10(休憩55分)  
【休 日】 週休二日制(土日祝日)、年末年始  
12/29～1/3)、創立記念日(5/1)  
【福利厚生】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労  
災保険、退職金(1年以上勤務の場合  
支給)  
【その他】 通勤手当 最高55,000円  
住居手当 最高28,500円  
【備 考】 雇用期間は原則、産休育休代替期間  
となりますが、ご相談に応じます。  
【連絡先】 福岡市南区大楠3-1-1  
TEL (092) 534-2750 (直通)  
FAX (092) 522-3066  
担当者 人事課 今村 純二

## 医療法人社団慶仁会 川崎病院

- 【募集職種】 作業療法士  
【募集人員】 2人  
【雇用形態】 常勤  
【給 与】 月209,600円～(資格手当含む)  
【賞 与】 年2回(夏、冬)  
【勤務時間】 8:30～17:30(休憩1時間含む)  
【休 日】 1か月に9日  
【福利厚生】 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災  
【その他】 院内託児所あり、永年勤続表彰あり  
託児手当(保育料の50%支給、寡婦・寡  
夫の場合70%支給)  
【備 考】 リハビリ業務  
【連絡先】 〒834-0024福岡県八女市津江538番地  
医療法人社団慶仁会川崎病院  
総務部長 柳井田(ヤナイダ)  
TEL 0943-23-3005  
FAX 0943-24-4808  
E-mail: jinjisoumu@kawasaki-h.jp

## 九州大学病院

- 【募集職種】 作業療法士  
【募集人員】 若干名  
【雇用形態】 有期契約(3年を限度、以後更新あり)  
【勤務開始】 2015年4月1日  
【応募締切】 2015年1月30日 17時必着  
【応募条件】 心身健康で作業療法士免許を有する者  
【応募書類】 1) 自筆履歴書(当院専用を必ず使  
用)、2) 成績証明書(作業療法士養成課程分)  
【選考方法】  
第1次選考:書類選考、第2次選考:第1次選考より  
選考された者について面接。日程は後日連絡。  
【給 与】 当院規定による。大卒日給9,047円、  
短大3年卒相当8,478円。経験調整、昇給あり。  
【勤務時間】 8:30～17:15、週38、75時間勤務  
年次有給休暇(採用、6ヶ月後に付与)  
【休 日】 土、日、祝(週休二日制)  
【福利厚生】 期末・勤勉手当、通勤手当、住居手  
当、時間外勤務手当、退職手当等、有給休暇、社会  
保険、厚生年金、労働年金等  
【備 考】 身障OT部門での業務  
【連絡先】  
〒812-8582 福岡県東区馬出3丁目1番1号  
九州大学病院総務課人事係 担当:菅野  
TEL: 092-642-5024  
見学・質問等問合せ 担当OT藤田  
E-Mail:afujita@reha.med.kyushu-u.ac.jp

# 会員動向調査

調査期間

福岡県作業療法協会

会員数

名

(正会員 :

名 自宅会員

名)

#### 異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で  
県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-OT.org/>)  
へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用  
紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電  
話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘  
れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお  
問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587